

第2回都市マネジメント懇談会

日時：令和2年(2020年)9月4日(金)

14時00分～

場所：広島市役所 議会棟4階 全員協議会室

次 第

1 開会

2 議事

「集約型都市構造への転換に向けた広島市の都市づくりはいかにあるべきか ～拠点地区のあり方～」

- ・話題提供1：「拠点地区のあり方 ～西区 横川を通して～」(木原委員より講演)
- ・話題提供2：「学びをキッカケに街と関わる ～ひろしまジン大学の活動～」(平尾委員より講演)
- ・意見交換

3 閉会

《配付資料》

- ・第2回都市マネジメント懇談会 配席表
- ・都市マネジメント懇談会委員名簿
- ・都市マネジメント懇談会開催要綱
- ・都市マネジメント懇談会内容
- ・第1回都市マネジメント懇談会報告
- ・第2回都市マネジメント懇談会資料

令和2年（2020年）9月4日（金）14：00～
広島市役所 議会棟4階 全員協議会室

第2回都市マネジメント懇談会 配席表

				神田委員	木原委員	
渡邊座長						
				田中委員	フंक・カロリン委員	平尾委員

都市マネジメント懇談会 委員名簿

令和2年9月1日現在

【敬称略】

分 野	氏 名	現 職 等
都市計画	渡邊 一成	福山市立大学都市経営学部 教授
建設環境	田中 貴宏	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
交 通	神田 佑亮	呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授
経済観光	フンク・カロリン	広島大学大学院人間社会科学研究科 教授
まちづくり	木原 一郎	広島修道大学国際コミュニティ学部 准教授
市民活動	平尾 順平	NP0法人ひろしまジン大学 代表理事

都市マネジメント懇談会開催要綱

（開催）

第1条 本市の都市計画行政を長期的視点から推進するにあたり、有識者等からより専門的で幅広い意見を聴取することを目的として、都市マネジメント懇談会（以下「懇談会」という。）を開催する。

（意見交換）

第2条 本市の都市計画行政の推進に資する事項について予めテーマを定め意見交換を行う。

（委員）

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が依頼する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) その他市長が必要と認める者

（座長）

第4条 懇談会に、委員の互選により座長1人を置く。

- 2 座長は、懇談会を進行する。
- 3 座長に事故があるときは、委員のうちから座長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。

（会議）

第5条 懇談会は、市長が必要と認めるとき座長の招集により開催する。

- 2 懇談会の会議は、公開とする。ただし、座長が特別に認めた場合は、その範囲内において非公開することができる。
- 3 懇談会は、必要に応じて関係者に資料の提出を求め、又は関係者の出席を求め、その説明若しくは意見を聴くことができる。

（庶務）

第6条 懇談会の庶務は、都市整備局都市計画課において処理する。

（その他）

第7条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、都市整備局長が定める。

附 則

この要領は、令和元年12月18日から令和3年3月31日までの間施行する。ただし、必要と認められる場合においては、再施行することを妨げない。

第1回都市マネジメント懇談会報告

1 開催日時

令和2年（2020年）2月10日 午前9時30分～午前11時30分

2 開催場所

広島市役所議会棟4階全員協議会室

3 出席委員

渡邊委員（座長）、山本委員、田中委員、神田委員、フंक・カロリン委員、木原委員

4 傍聴人

一般 5名、報道関係 3社

5 議論内容

(1) 論点整理

渡邊座長から「広島市における集約型都市構造への転換に向けた論点整理」を説明

(2) 話題提供

田中委員から「都心部における環境調和型デザインの維持及び改善」を説明

(3) 主な意見交換の内容

- ・公共空間の活用
- ・宿泊観光客の増加
- ・パブリックマインド
- ・ヒートアイランド

都市マネジメント懇談会内容

1 時 期

令和2年2月～令和3年9月（5回開催予定）

※1回あたり120分程度

2 目 的

本市の都市計画行政について、当面のことでなく、数十年先を見据えた長期的な視点から、有識者に自由闊達な議論を行っていただき、専門的で幅広い意見を聴取すること

3 テ ー マ

「集約型都市構造への転換に向けた広島市の都市づくりはいかにあるべきか」

4 会議内容（案）

時 期	内 容
第1回 (R2. 2)	「都心部のあり方」 ○地区は、広島駅周辺、紙屋町・八丁堀地区 ○広島市が国際平和文化都市として、また、中四国地方の中核都市として発展していくには、どのような都心づくりを進めていくべきかについて
第2回 (R2. 9)	「拠点地区のあり方」 ○地区は、広域拠点4か所（宇品・出島地区、井口・商工センター地区、西風新都、緑井地区）と地域拠点8か所（西広島駅周辺、横川、古市、大町、高陽、可部、船越、五日市の各地区） ○各拠点が地域毎の特色を活かして持続・発展していくには、どのような拠点づくりを進めていくべきかについて
第3回 (R3. 1)	「都心部、拠点地区を結ぶ交通ネットワークのあり方」 ○対象は、第1、2回で話題とした都心部、拠点地区を結ぶ交通ネットワーク ○第1、2回の議論内容を踏まえ、どのような交通ネットワークを構築するべきかについて議論
第4回 (R3. 5)	「郊外住宅団地や点在集落のあり方」 ○地区は、主には市街化調整区域や都市計画区域外 ○郊外において、災害リスクを軽減し必要な機能を維持していくには、どのような地域づくりを進めていくべきかについて
第5回 (R3. 9)	「最終とりまとめ」 ○第1～4回の内容を踏まえ、最終とりまとめ

第2回 都市マネジメント懇談会 2020.09.04(金) 14:00~16:00

拠点地区のあり方 - 西区 横川を通して -

広島修道大学

国際コミュニティ学部 地域行政学科 准教授 木原 一郎

本日の目次

- 1 横川の位置付け
- 2 横川での取組み
- 3 拠点地区のあり方 - 横川での取組みから -

本日の目次

- 1 横川の位置付け
- 2 横川での取組み
- 3 拠点部のあり方 - 横川での取組みから -

横川の位置付け

広島市西区横川駅周辺

→生活サービス機能の充実など
により、地域の生活・活動を
支える拠点を形成。

本日の目次

- 1 横川の位置付け
- 2 横川での取組み
- 3 拠点部のあり方 - 横川での取組みから -

横川での取組み

横川商店街振興組合
横川商店街連合会

横川での取り組み



<http://blog.livedoor.jp/yokogawa2007/archives/51228389.html>

横川での取り組み



横川での取り組み

NPO 広島横川スポーツカルチャークラブ

横川での取り組み



横川での取り組み

横川カンパイ王国

横川地区魅力発掘・発信検討委員会

横川での取り組み



横川での取り組み



横川での取り組み

横川エリアマネジメント連絡協議会

横川での取り組み



横川での取り組み

横川駅南側はにぎわいを
横川駅北側はやわらぎを

横川での取り組み

横川駅南側

にぎわい

駅前広場(三角広場)に屋根を追加。
河岸の倉庫やトイレ整備、雁木活用。
中央公園に向けての橋。

横川での取り組み

横川駅北側

やわらぎ

人中心の空間へ(ウォーカブル)。
コミュニティバス、歩きやすい歩道。
駐輪場を移設し、街の中庭整備。

横川での取り組み

横川駅北側

やわらぎ

市営アパートの改築
なんでも相談所
(外国人相談、子育て、医療)
駐輪場移設、子育て世代住宅
周辺と連動した広場

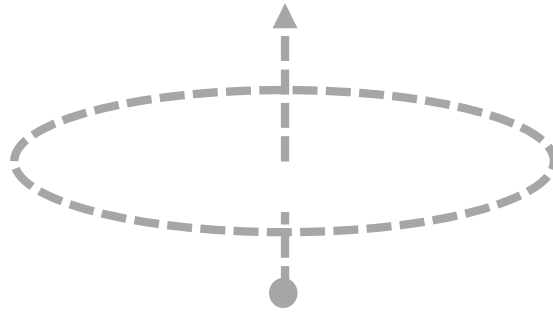
横川での取り組み

各団体が有機的に関わる

マネジメント志向を持った団体であり、
上下をつなぐ中間組織となっている。

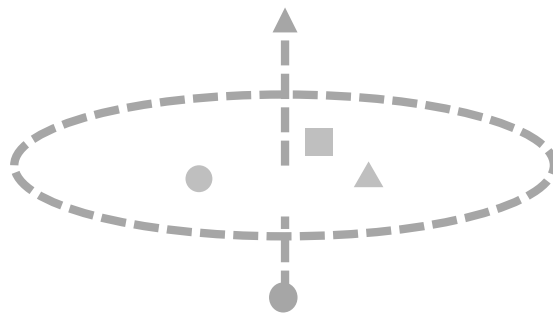
横川での取り組み

コミュニティの持続可能性



横川での取り組み

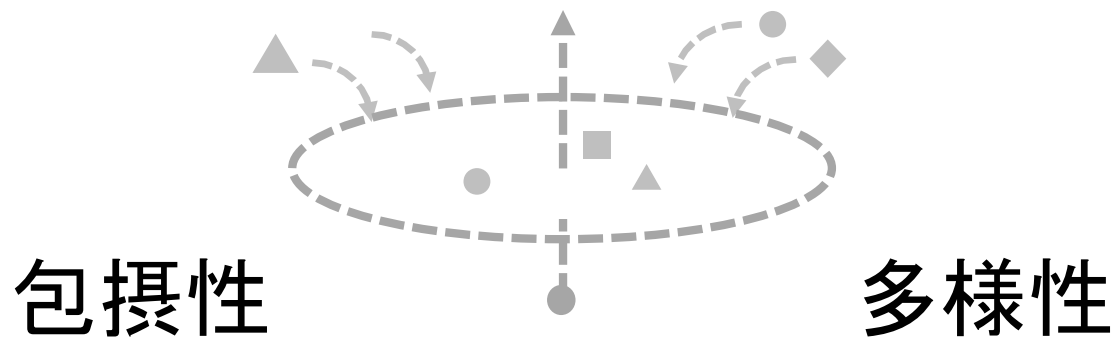
コミュニティの持続可能性



多様性

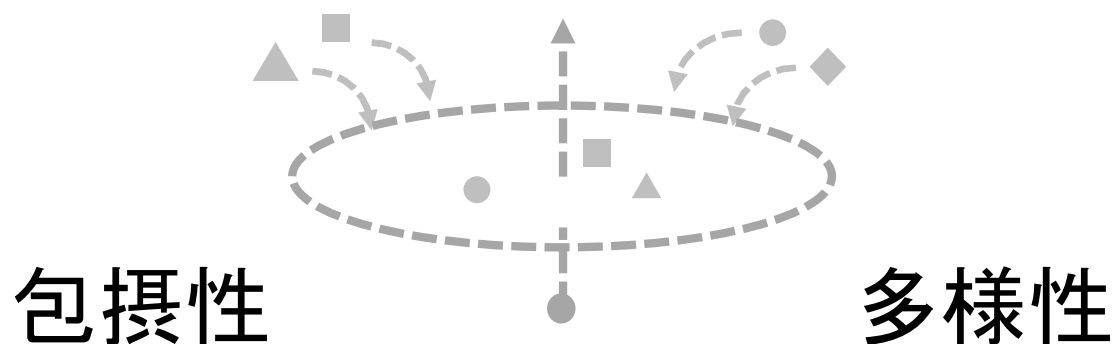
横川での取り組み

コミュニティの持続可能性



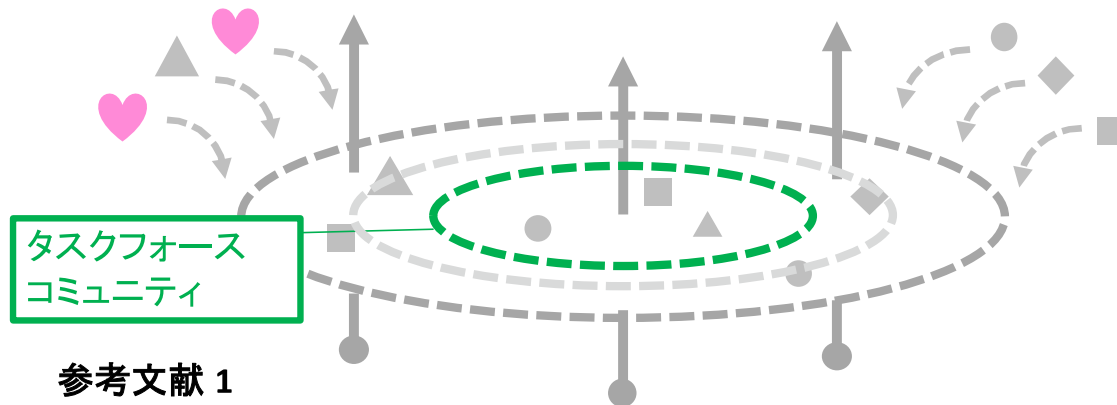
横川での取り組み

横川商店街：イベント等を通して



横川での取り組み

横川の場合



本日の目次

- 1 横川の位置付け
- 2 横川での取り組み
- 3 拠点地区のあり方 - 横川での取り組みから -

拠点地区のあり方 - 横川での取り組みから -

**実験的拠点となる。
マネジメント志向を持つ。
エリアビジョンを持つ。**

参考文献

参考文献 1

寛裕介、『持続可能な地域のつくり方——未来を育む「人と経済の生態系」』、英治出版、2019

参考文献 2

園田 聡、『プレイスメイキング: アクティビティ・ファーストの都市デザイン』、学芸出版社、2019